



麻布出る杭

令和5年度DP事業 「共通テーマ1」成果物

知識集約型社会を支える人材育成事業
「メニューⅡ：出る杭を引き出す教育プログラム」

～動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム～
(通称：麻布出る杭、ジェネプロ)

本事業の目指す人材像

SDGsにかかわるヒト、動物、食品、環境の専門性を
活かし、問題解決のできる人材を育成



専門コア力

自分の専門を深く掘り下げる力



広範展開力

自分の専門を関連分野へ展開する力



実践力

最適解を導きだしそれを実現する力

本事業の特徴

教学マネジメント
教学 IR・Learning Analytics

時空間を超えた修学の
チャンスの提供

「教える」から「学ぶ」へ
自身を知り、未来を見て、さらにその上へ

修学の特徴を知る
StepGPAとカラーマップ

- STEM 教育
- サイエンスリテラシー・コンピテンシー

学外実践実習
実践研究への参加

- 「ヒトと動物の共生科学センター」
- 「フィールドワークセンター」
- 「動物・生命科学データサイエンスセンター」

高一大一院の有機的連携

本事業の特徴

「麻布出る杭」の特長



1 チャレンジ

学部1年次から本物の研究に挑戦

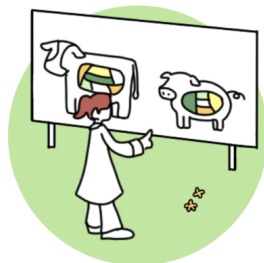
本プログラムでは、1年生の後期から本物の研究へのチャレンジができます。研究参加は学生さんの研究力を伸ばすだけではありません。



3 チャンス

学部在籍中に大学院授業が履修可能

学部在籍中に大学院の授業が履修可能です。このため、大学院修士課程を1年早く終了するチャンスがあります。1年分の学費が節約できるだけでなく、大学院に進学することには大きなメリットがあり、理系大学院修了者は、学部修了者と比較して生涯年収で約4000万円上昇することが内閣府の調査研究*で明らかになっており、大きな金銭的メリットがあります。



2 スキップ

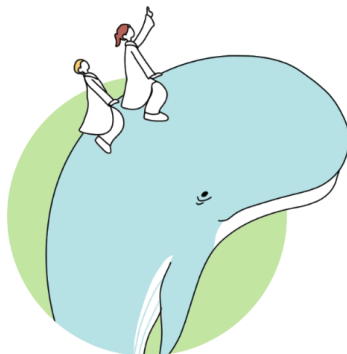
高校生のうちから先取り学習

2023年度（予定）から高校生が大学の先生から直接の指導を受けながら研究にチャレンジできます。また、大学の授業も受講可能です。高校生で受けた大学の授業は、入学後に大学の単位として認定され、大学での自由な時間を増やすことができます。

4 シームレス

高校～大学院までのシームレスな学び

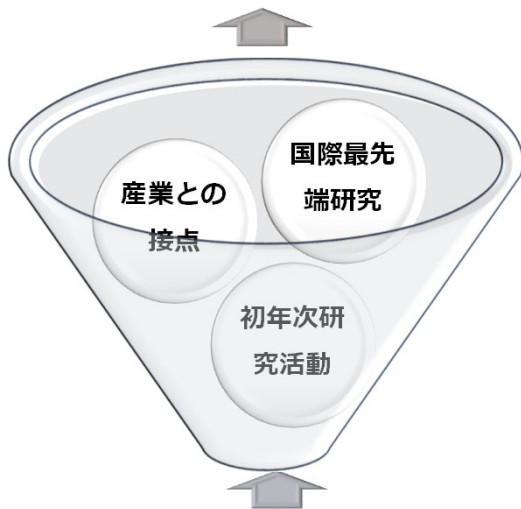
高校から大学、大学院へのシームレスな「学びの環境」を整えます。これにより、自分の学年にとらわれず、幅広い先端教育を受けることが可能になります。自分の好きな時間に好きな場所で学べる、それが本プログラムの特徴になります。



*「大学院卒の賃金プレミアム—マイクロデータによる年齢—賃金プロファイルの分析—」

時空間を超えた修学のチャンスの提供

学部修士の連続した教育課程



高大接続

いのちと共生の研究プログラム

修士

- 動物生命科学に貢献する高度な知識と技術
- 関連領域と連携する力
- 学部4年時における大学院講義の履修促進
- 学会活動などを経て5年にて修士課程修了も可能

3 ・ 4

- 実践場面での問題の意識化とその解決手段
- グローバルな視点
- 授業クォーターは基本オンラインで実施
- 実習クォータは、低学年は学内で、高学年は実社会で実施
- 海外研究拠点におけるグローバル人材産業・公的機関との連携による実践研究を通じた育成

学部 1 ・ 2

- 社会問題への深い理解
- 早期の研究参加
- 幅広い教養と視点の育成
- 「つかみとる力」を身に着ける
- クォータ制導入
- 実践社会での実習や実務経験
- 学部1年次、2年次における最先端研究実施
- 「ヒトと動物の共生科学」の実践研究
- 「地球共生系」「地球共生系データサイエンス」「地球共生系サイエンスワーク」など幅広い知識の習得

高校生

- 動物・生命科学への強い興味を育成
- 将来設計を見据えた修学姿勢
- オンライン大学授業の先行履修制度（入学後単位認定）
- 高校生の動物生命科学、ヒトと動物の共生科学、環境科学などの研究プログラム実施
- メンター制度を取り入れた卓越人材の早期育成

本事業の特徴

学生自らに「出る杭」を可視化させ、自ら学んでいくシステムの構築

修学カラーマップ

- 科目をSTEM教育の4つ「知」「技」「作」「算」の割合を明記。
- さらに、学士力の「知識」「理解」「応用」「発展」の割合を明記。

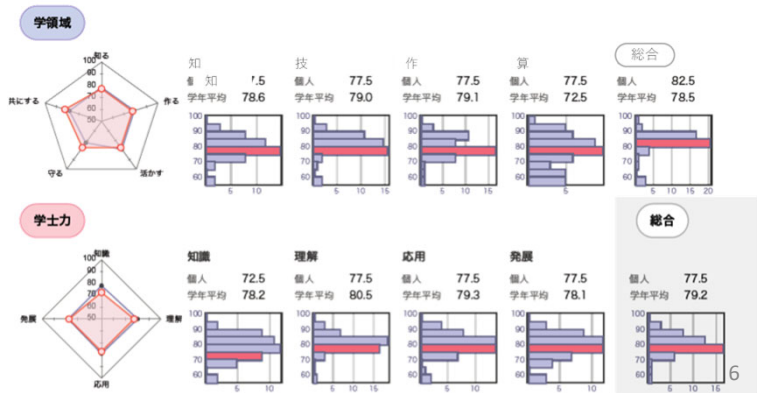
どの科目がどのような特徴をもつのか、自分の特性をどこに持たせるのかが明瞭化。



StepGPA

- STEM教育の4つ「知」「技」「作」「算」学士力の「知識」「理解」「応用」「発展」の割合を明記

どの領域に強み、どこが足りないか、自分の特性が明瞭化。項目毎の評価を可視化。





麻布サイエンスリテラシー & コンピテンシーテスト

by  麻布出む杭

◆ サイエンスリテラシーテスト

2012年のCBE-Life Sciences Education 掲載論文
Test of Scientific Literacy Skills を和訳

専門性の土壌となる **科学基礎力** を測定

情報精査力やデータ利用スキルなど
9カテゴリー



◆ コンピテンシーテスト

123testよりCompetency testを和訳

行動特性 を主観的に評価

外向性、発想力、計画実行力など
12カテゴリー

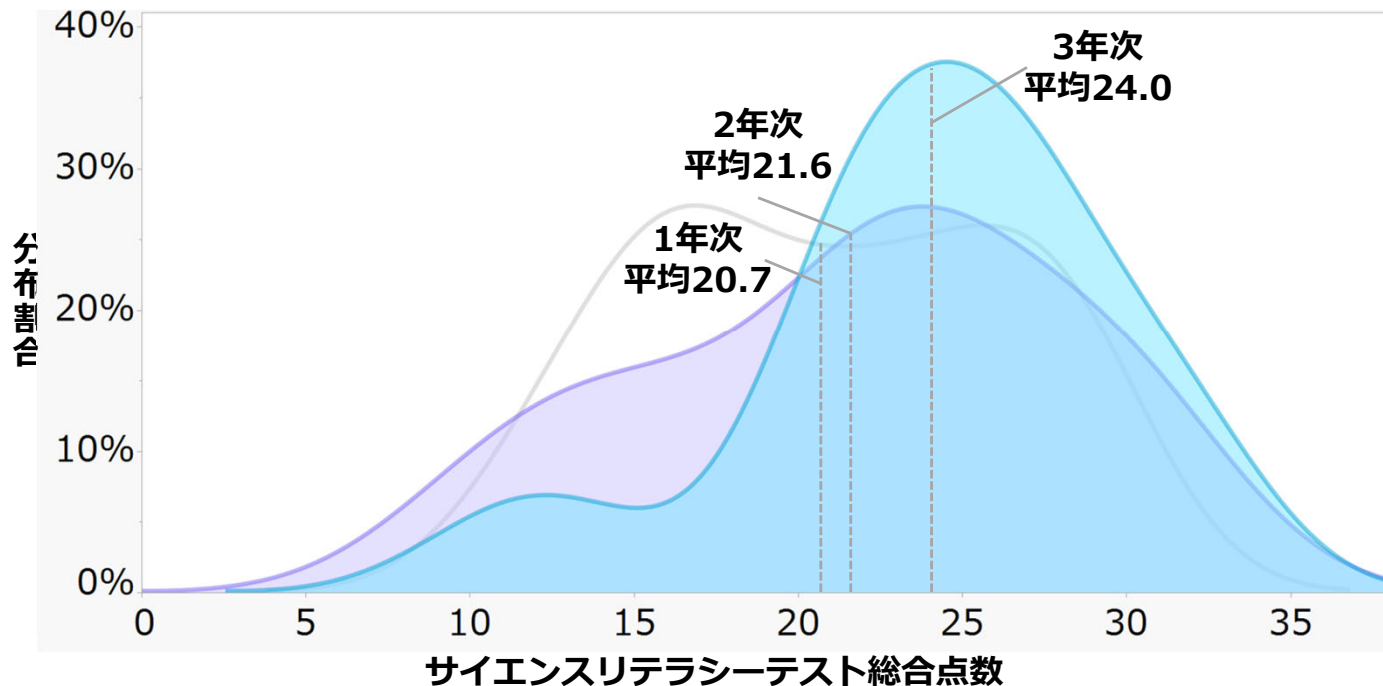


身につく！サイエンスリテラシー



サイエンスリテラシーテストの総合点数を追跡調査（研究プロジェクトに参加する同一学生）

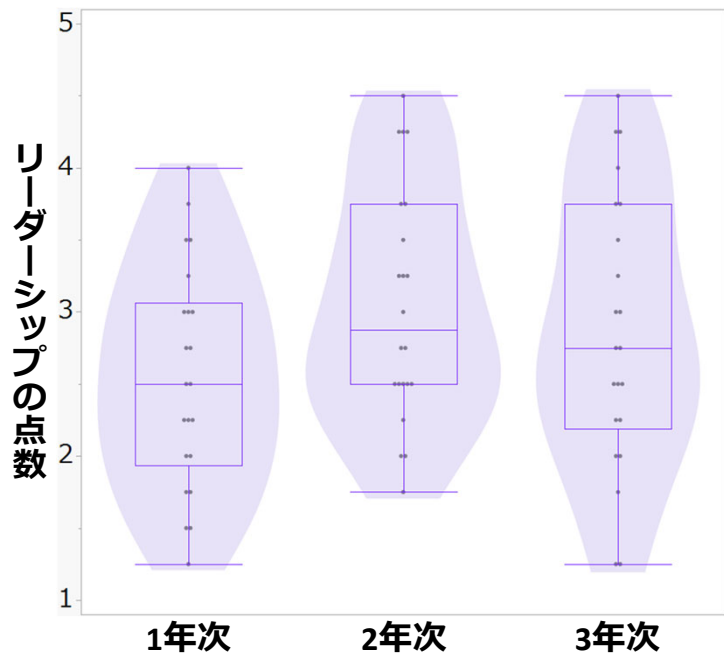
サイエンスリテラシーテストを構成する9カテゴリーの総合点数（36点満点）をヒストグラムで表現2020~2022年度の対応ある動物応用科学科学生のデータを用いた（研究プロジェクト参加学生19人）



評価体制の整備



リーダーシップの点数を追跡調査
(研究プロジェクトに参加する同一学生)



3年次のリーダーシップ (外部指標 GPS-Academic™
Global Proficiency Skills program®)

*優秀層はBenesse iキャリアが設けた基準値 有名企業400社内定レベル

